

# 1冊の本から あなただけの コンテンツを 作る方法

特別な知識がなくてもコンテンツが作れる  
方法をお伝えします

## ■ はじめに

このレポートの利用に際しては、以下の条件を遵守してください。

このレポートに含まれる一切の内容に関する著作権は、ダッドに帰属し、日本の著作権法や国際条約などで保護されています。

著作権法上、認められた場合を除き、著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部を、複製、転載、販売、その他の二次利用行為を行うことを禁じます。

これに違反する行為を行った場合には、関係法令に基づき、民事、刑事を問わず法的責任を負うことがあります。

ダッドは、このレポートの内容の正確性、安全性、有用性等について、一切の保証を与えるものではありません。また、このレポートに含まれる情報及び内容の利用によって、直接・間接的に生じた損害について一切の責任を負わないものとします。

このレポートの使用に当たっては、以上にご同意いただいた上、ご自身の責任のもとご活用いただきますようお願いいたします。

## ■目次

■ ■ はじめに .....	2
■ ■ 想像してみてください .....	4
■ ■ 自分の意見を取り入れろと言うけれど .....	5
■ ■ 試行錯誤の繰り返し.....	7
■ ■ 作り方を紹介します .....	8
● 作業をまとめます .....	13
● 感謝の気持ちでいっぱいです .....	14
● 最後にプレゼント .....	15

## ■ 想像してみてください

想像してみてください。

恋愛商品、マーケティング商品、ダイエット商品。占い商品。

どんなジャンルの商品でも自由に作ることができる、あなたを。

特別な知識は必要ありません。

また、ジャンルに関する経験も必要ありません。

あなたのコンテンツ販売で収入を得たいという気持ちがあれば十分です。

あなたが、このレポートを読み終えるころには

「よし！コンテンツを作ってみよう！」という気持ちになることでしょう。

コンテンツ作成の経験が無かった私でも、まずは試しにと挑戦したココナラで、174件のコンテンツ販売に成功しました。

では、どうやって1冊の本からコンテンツを作るのか。

さっそくお伝えしようと思います。

## ■ 自分の意見を取り入れろと言うけれど

「はは～！よく言われている2、3冊本の内容を自分でまとめ、自分の意見も取り入れて商品にする方法ですね？」

勘のいいあなたはそう思ったかもしれません。

実は私、本から自分だけのコンテンツ作成する有料セミナーを受けたことがあります。

しかも、1万8千円支払って。

で、結果はどうだったかというと

「具体的にどういう方法をとれば、いいんだ？」という大きな疑問だけが残りました。

抽象的なことは話してくれたのですが、具体的にどうやればいいのか分からないままセミナーは終わってしまいました。

メインで言われたのが「自分の作っているコンテンツに本の内容で参考になる箇所を抜き出して、自分なりにまとめてください」というものでした。

いやいや、最初から作れるならセミナー受けないちゅうの！  
とつつこみをいれたくなりました。

## ■ リライトすればいいと言うけれど

有料セミナーで、もうひとつ解説があったのが、リライトしてコンテンツを作るというものでした。

どうやって、リライトするかというと・・・

くわしい紹介はやめておきましょう。

はっきりいって、まったく使い物にならない方法でしたから。

もう、ほぼパクリの方法でしたから。

形容詞や副詞、語尾をかえる。

語順を入れ替える。

言葉を類語に置き換えるなどなど・・・

この方法って 8 年くらい前にブログ記事を書くときに流行った、なんちゃってリライトの方法なんです。

絶対に使わないでくださいね。

## ■ 試行錯誤の繰り返し

せっかく、お金を払ってのセミナーでしたから、なんとか本からオリジナルコンテンツはできないものかと試行錯誤を繰り返しました。

でも、なかなかうまくいかず「もう一回だけアフィリエイトブログに挑戦するかな？」とも考えました。

ただ WordPress の設定、ブログデザインの設定などのめんどうさを思い返すと、それも二の足を踏んでいました。

そんなとき、X(旧 Twitter)で、ある方の無料プレゼントが目にとまりました。

「本をマインドマップでまとめ二度と読まなくても大丈夫になる方法」というものでした。

なにかピンとくるものがありプレゼントを受け取りました。

内容を数回見ているうちに「この方法をアレンジすればいけるかも！」とわくわくしたのを、今も思い出します。

さらに試行錯誤を繰り返し、ついに自分として納得できる方法ができあがりました。

「これで、どんなジャンルでもコンテンツができる！」とうれしきで、その日の夜はなかなか寝付けませんでした。

## ■ 作り方を紹介します

レポートの最初に書きましたが、できあがった方法でコンテンツを作り 176 件ココナラで購入していただきました。

出品したコンテンツも本から作り上げたものなんです。

方法はとても簡単です。

本を見ながら直接自分の言葉に書き直してもいいんですが、それだとちょっと難しいので

① まずは本の小見出し（第一章、第二章という大見出しの中にもいくつか見出しがありますよね、それを小見出しと言います）

② 小見出しごとに一度読み、何が書かれているのか、そして何を言いたいのかを読み取ります。

↓↓

国語のテストではないので、こんなこと言ってる小見出しだなど、ぼわっと感じれば OK です。



- ③ 小見出し 1 ページごと画像に撮り、グーグルドキュメントに貼り付けます。

↓↓

<https://insource-mkd.co.jp/staff-blog/10168/>

グーグルドキュメントへの画像の貼り付け方法は、この記事を参考にしてください。

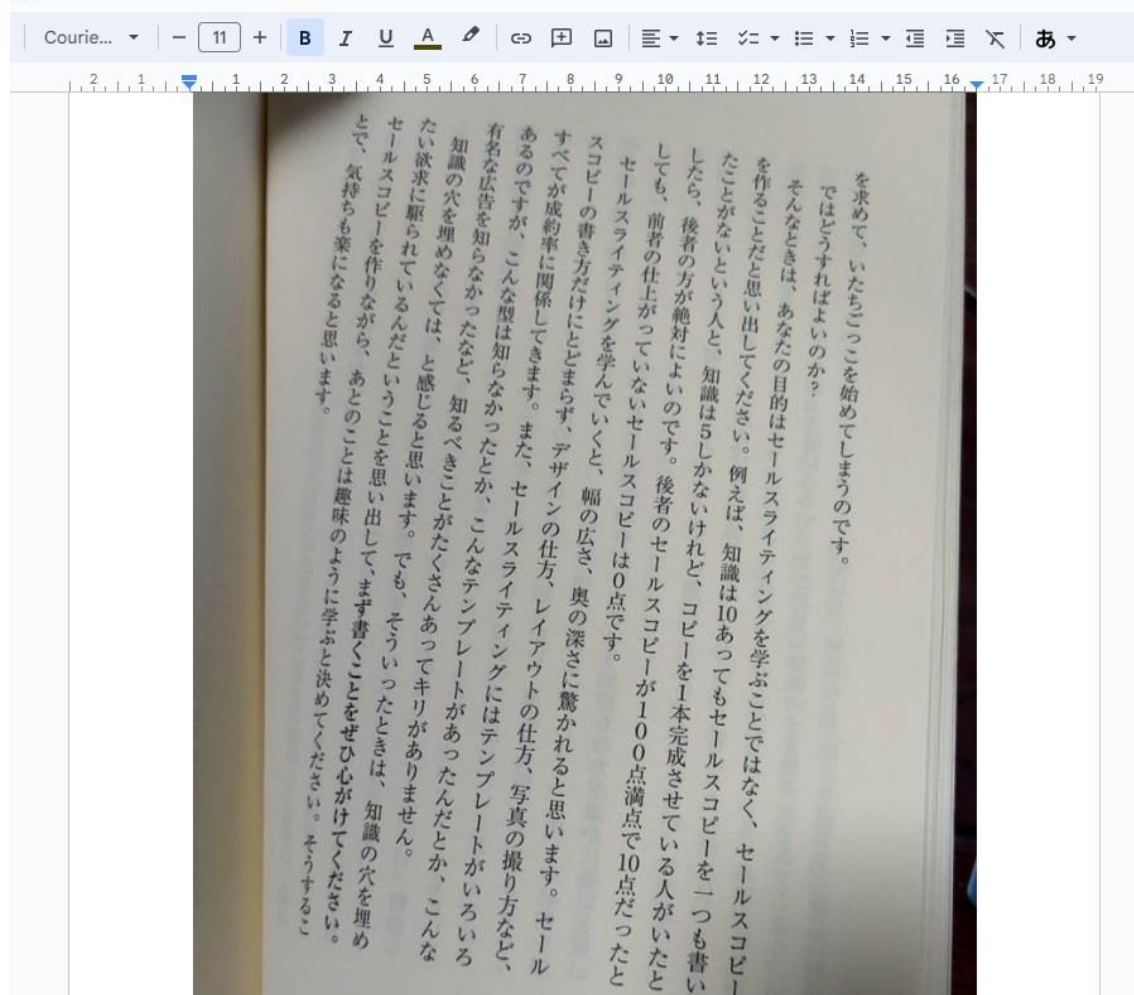
- ④ **Line** も画像を貼り付ければ、かつてにテキスト化してくれるので試してみましたが、原文との違いを訂正する箇所がおお区切るのでやめちゃいました。

- ⑤ グーグルドキュメントが勝手にテキスト化してくれます。次にページにグーグルドキュメントに画像を貼り付けるとどうなるのかを貼っています。

- ⑥ 基本、このくりかえしです。

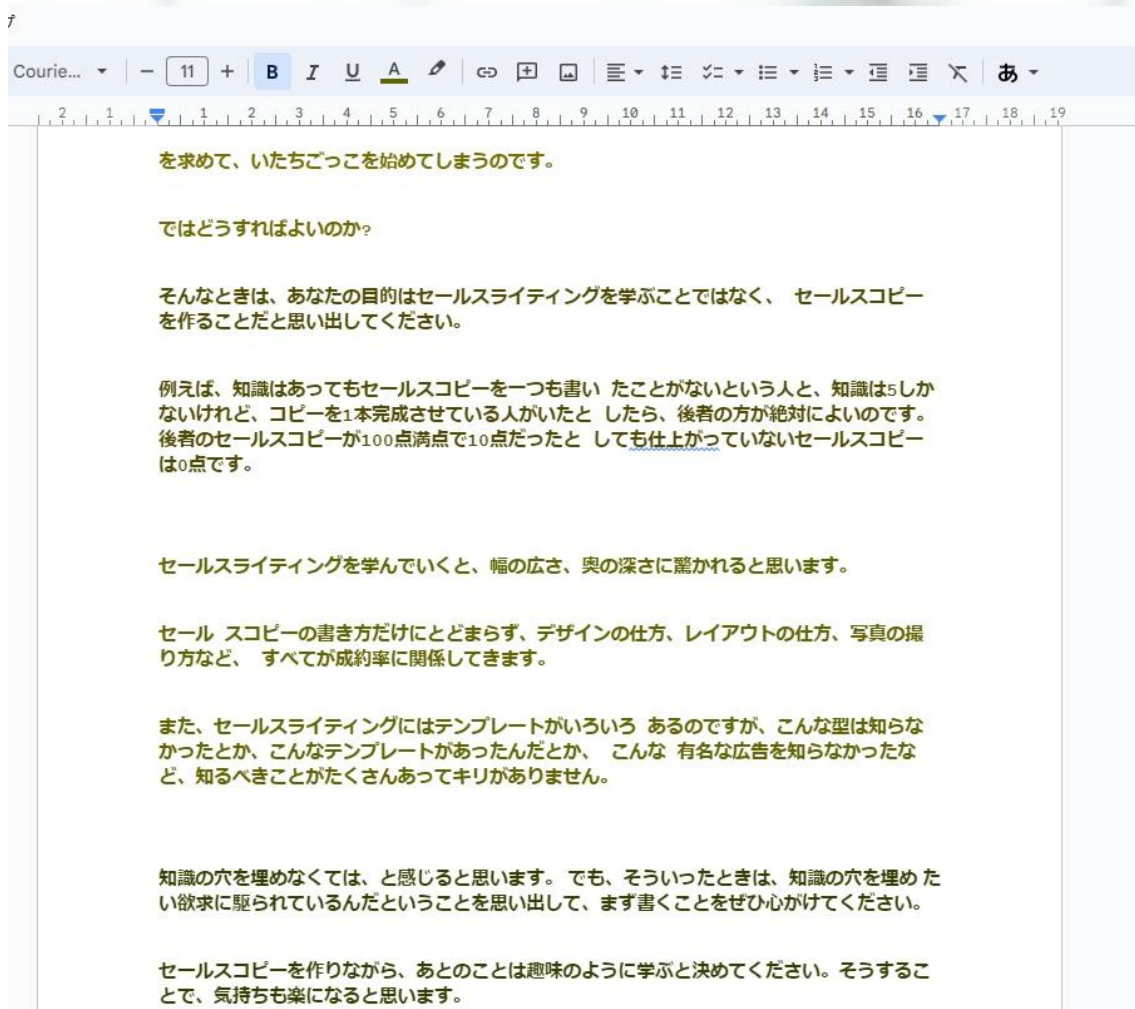
↓↓

ルブ



本の1ページをグーグルドキュメントに貼り付けると  
かってにテキスト化してくれた画像が次のページにあります。

読書をすればコンテンツが作れる



このように、自分で本の中身をいちいち書き写さなくても、自動でやってくれます。

ほぼ、原文と同じですが、少しだけ間違っているところもあつたりします。

なので、そこは自分で訂正していきます。

文字の大きさやカラーは自分の見やすいものに訂正します。

- ⑦ このまま直接文章を直してしまうのは難しいので、テキスト化され間違いを訂正した文章を

あなたが自分の文章に直しやすいものにコピー&ペーストを行います。

たとえばWordとかTeraPadとか、無料で使えるもので十分です。

- ⑧ 本の文章を自分の言葉に書き直していきます。

あなたが選んだものにコピー&ペーストした1ページごとに、自分の言葉で書き直してもいいですし

小見出し本文全部をコピー&ペーストしたものを、自分の言葉で書き直してもOKです。

- ⑨ 次に行くことは、大切です。

りかえし行い、大見出しの原文を全部書き直したら全体を読み直し、文章の流れがおかしい個所を書き直す。

この作業をしないと、日本語的におかしな文章になってしまいます。

読書をすればコンテンツが作れる

めんどうなら、やらなくてもいいんですが  
私的にはやることをおすすめします。

## ■作業をまとめます

コンテンツにしたい本を選ぶ

↓↓

1 ページごと画像に取り、グーグルドキュメントに貼り付け自動でテキスト化する

↓↓

テキスト化された文章が原文と違わないかを見て、訂正

↓↓

自分の言葉に書き直す

↓↓

大見出しの中の小見出しを全部書き直したら、全体を読み直し、小見出しの繋がる文章がおかしくないかをチェック

↓↓

この繰り返し

実際に私が試しにココナラで 174 件販売したコンテンツの作り方を  
つつみかくさず、お伝えしました。

ココナラや **Brain** などで販売する際には

- ①販売するコンテンツ
- ②販売ページにのせるサムネ
- ③商品に興味がある人に読んでもらおう、無料で読める部分のセールスレター

の3つが必要になります。

コンテンツは紹介した方法でテキスト（文章）化すれば、

- ① テキストコンテンツ
- ② テキスト化した文章をマインドマップやパワポを使い動画にする  
コンテンツ

などなど、くふうしだいで、いろいろな形のコンテンツにすることができます。

## ■感謝の気持ちでいっぱいです

読んでみて、どう思われました？

あんがい「こんな方法、知ってるよ！」

や

「こんな方法なら誰でも思いつくよ」

とか

「もっとすごいほうほうかと思ったのに、がっかり」

と思った方もいらっしゃるかと思います。

ただ、もしお一人でも「この方法、やってみよう！」と感じてくれる  
かたがいらっしゃれば、それでいいんです。

## ■最後にプレゼント

本をグーグルドキュメントに貼り付け、自分の文章に書き直すことはわかった。

でも文章を書くのは苦手だし、どうやったら自分の文章にできるんだ？

と思われたあなたへ、感謝の心を込めてプレゼントをご用意しました。

プレゼントは、たった 13 文字の言葉です。

「は？ 13 文字だけ？ なにそれ・・・」と思ったでしょう？

私でも、そう思います。

ただこの 13 文字は、私が試行錯誤して見つけた 13 文字です。

この 13 文字を思いついたことで、本 1 冊からコンテンツを作ることが出来たと言っても過言ではありません。

「たった 13 文字」ですが、知りたいなと思われましたらひとつご協力をお願いできませんでしょうか。

<https://twitter.com/dad7712/status/1722235777114112262>

読書をすればコンテンツが作れる

こちらの私のXの固定ページ（ポスト）を引用 RT(リポスト)して  
いただきたいと思います。

引用 RT(リポスト)していただきましたら、私の個人の Line に  
↓↓

<https://fsmk.co/t/yYQCXy-szwrja?openExternalBrowser=1>

こちらが個人の Line です。

Xのネームをご記入いただき  
「したよ」とお送りください。

確認しだい 13 文字をプレゼントさせていただきます。  
さらに、実際に私が本を要約した画像をプレゼントいたします。

13 文字がどう活かされているのか。  
実際に見て、あなたの要約に活かしていただきたいと思います  
とっております。

最後まで読んでいただき、ありがとうございます。

あなたとの出会いに、本当に感謝感謝です。

今後もよろしく願いいたします。



読書をすればコンテンツが作れる

